

避難行動判定フローで

“自宅の災害リスク”と“とるべき行動”を確認しよう！

POINT 1 避難とは「難」を「避」けることです。安全な場所にいる人は、避難場所に行く必要はありません。



POINT 2 避難先は小中学校などの避難場所ではありません。安全な親戚・知人宅に避難することも考えてみましょう。



あなたがとるべき避難行動は？

避難行動判定フロー

家族で取り組みましょう。



まず、洪水や土砂災害の**ハザードマップ**（※1）で自分の家がどこにあるか確認しましょう。



札幌市の洪水・土砂災害のハザードマップは、以下のWEBサイトでご確認ください。

札幌市洪水ハザードマップ

検索



札幌市土砂災害ハザードマップ

検索



Q.

自宅がある場所に色が塗られていますか？

いいえ

原則、避難不要です。（※2）

はい

災害の危険があるので、**原則として自宅以外に避難が必要です。**

例外も
あります

※浸水の危険があっても、次の3つすべてを満たす場合は、**自宅に留まり安全確保をすることも可能です**

Q.

安全な場所に住んでいる**親戚や知人**はいますか？

はい

安全な親戚や知人宅に避難しましょう
(日頃から相談しておきましょう)

いいえ

各区が開設している指定緊急避難場所に避難しましょう



- 1 洪水により家屋が倒壊又は崩落してしまうおそれの高い区域の外側である
- 2 浸水する深さよりも高いところにいる
- 3 浸水しても水がひくまで我慢できる、水・食糧などの備えが十分にある

※土砂災害の危険があっても、十分頑丈なマンション等の上層階に住んでいる場合は、**自宅に留まり安全確保をすることも可能です**

避難場所に避難する際に気をつけることは？ <裏面をチェック!>

札幌市が避難勧告等を発令した際は、上記の避難行動判定フローに従って、適切な避難行動をとりましょう。

※1 ハザードマップは浸水や土砂災害が発生するおそれの高い区域を着色した地図です。

※2 色が塗られていなくても、周りと比べて低い土地や崖のそばなどにお住まいの方は、市区町村からの避難情報を参考に必要に応じて避難してください。





避難時に気をつけること



- マスクを着用して避難場所へ向かいましょう
- 食料や常備薬などの必要な物に加えて、衛生用品を持参しましょう

例



マスク



アルコール
消毒液



体温計



食料



水



常備薬

…など



新型コロナウイルス感染症の感染拡大を防ぐため

一人ひとりが気をつけること



避難場所で気をつけること

- 避難場所に入る前に、体調チェックを受けましょう
- 発熱や体調不良などがある場合は、避難場所の職員に申し出ましょう
- 避難場所のルールに従って行動しましょう



いまは、
きよりとって



咳エチケット



手を洗おう



毎朝、体調チェック

など